

# 一関清明支援学校

## 研究テーマ

「4障がいに対応する学校としての授業づくり  
～学部課題への取り組みを通して～」  
(2年次研究2年目)

### 1 全体研究

#### (1) 主題設定の理由

本校は、4障がい種に対応し、2校舎3分教室で学習活動を展開している。H30～R1年度は、以下4つの視点から本主題を設定し、2年次研究で取り組んだ。

- ① 幼児児童生徒の多様な実態やニーズに対応する、教師の専門性の向上。
- ② 学校運営のテーマ：「学び」「つながり」「ひろがり」から、系統性のある学習や課題解決学習を通して確かな学力やコミュニケーションスキルの向上を目指し、地域・生活に支援を広げること。
- ③ これまでの研究成果(他校舎・学部の実践を共有)を学部に反映させ、指導支援に生かすこと。
- ④ 新学習指導要領「豊かな人間性の育成」、岩手県「確かな学び、豊かな学びプロジェクト」より、幼児児童生徒の主体的・対話的で深い学びを目指すこと。

#### (2) 研究目標

各学部が抱えている課題に対し、授業実践を通してその改善を図り、4障がいに対応した学校として授業づくりを行う。

#### (3) 各学部、分教室のテーマ並びに今年度の実践

- ① 幼小学部(病、肢、聴)  
「主体的に学び表現する授業づくり」  
幼稚部：「幼児が自ら表現するための環境づくり」～遊びを通して支援のあり方を探る～  
小学部：「主体的に学び表現する授業づくり」
- ② 中学部(病、肢、知)  
「個々の成長を促すアプローチ」～心理的安定とコミュニケーション面の伸長を目指して～
- ③ 高等部(病、肢、知)  
「進路実現に向けた支援のあり方について」～作業学習・自立活動の授業づくり～
- ④ 山目小学部(肢、知)  
「児童のニーズに応じた体づくり」
- ⑤ あすなる分教室(病、肢)  
「重度重複障がい児童生徒の発達に応じた授

業づくり」～認知・コミュニケーションの発達に着目して～

- ⑥ 千厩分教室小・中学部(知)  
「ICT機器を活用した授業づくり」
- (4) 今年度の実践

H30 研究の成果と課題を受けて、研究グループ毎のテーマに沿って研究を深め、全校で共有した。第一回全校研究会4月、グループ毎研究日(1回/月)、第二回全校研究会2月。

### 2 講演会

演題：「主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指して～学習指導要領の改訂 育成すべき資質・能力～」

講師：東北福祉大学 教育学部 教育学科  
教授 大西 孝志 氏

期日：令和元年8月9日(金)

参加者：94名

### 3 研修会

#### (1) 研修報告会

- ① 第42回てんかん基礎講座(8月27日)
- ② 第60回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会・第46回東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会(宮城大会)(9月12日)
- ③ 東北聾教育研究会(5部研) 幼稚部会研究会(12月12日)

#### (2) 学部研修会

- ① 聴覚障がい児が自ら表現するための環境づくりと、遊びにおける教材教具の工夫や教師の働き掛けについて(本校舎幼小学部)
- ② 発達障がいのある生徒の特性理解と支援(本校舎中学部)
- ③ 児童生徒の身体の動きづくり(知的障がい)と姿勢づくり(重度重複障がい)について(山目校舎小・中学部)
- ④ 重度重複障がい児・者におけるICT機器活用・実践の報告(あすなる分教室)
- ⑤ ICT機器やiPadのアプリの活用(千厩分教室)

### 4 他の教育研究機関との連携

岩手県病弱・虚弱教育研究会

### 5 刊行物：

研究集録の刊行なし。ホームページで公開。